



年2回(1月・7月)発行

シルバー
連合会

いしかわ

第43号

令和2年1月発行



加賀水引
写真提供：石川県観光連盟

目次

シルバー連合会いしかわ 2020. 1 第43号

年頭のご挨拶

会 長 桶 川 秀 志	1
石川県知事 谷 本 正 憲	2
石川労働局長 松 竹 泰 男	2

令和元年度8月から12月末までの主要事業

専門委員会	3
石川労働局・石川県等への要請	3
労働者派遣業務担当者会議	4
経理研修会	4
普及啓発促進月間活動	4
親睦グラウンド・ゴルフ大会	5
第2回県内各センター事務局長会議	5
運転技能講習	6
石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画策定委員会	6
第3回理事会	7
理事長会議	7
高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）	8
センター支援講習（連合会の独自事業）	9
特集 センター支援講習から 「空き家管理事業推進のためのドローン講習」の取組	10

衛生委員会 掲示板	11
-----------------	----

県内の各シルバー人材センターの活動	12～17
-------------------------	-------

編集後記	裏表紙
------------	-----

表紙写真の説明

加賀水引

加賀水引は金沢市の希少伝統工芸。日本の伝統的なラッピングともいえる水引の基本工程は、和紙で「包む」、水引で「結ぶ」、贈る人の気持ちを毛筆で「書く」の3つだが、平面的デザインだった水引を、立体的に仕上げ芸術の域に昇華させ、その独自の技と品位は芸術分野で高く評価されることとなった。この作風が「希少伝統工芸 加賀水引細工」として確立された。



年頭のご挨拶

公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会
会長 桶川 秀志

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当連合会の運営及び諸活動につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進み、超高齢社会の中、人生100年時代に向かおうとする現代、働く意欲のある高齢者の活躍の場として、シルバー人材センターの地域社会に果たす役割がより一層期待されております。

当連合会では、昨年、県民の皆様には、シルバー人材センターについて広く知っていただくとともに、多くの方にシルバー事業に参加してもらうため、新たな取組として、県内4カ所で、周知・広報イベント「シニアフェスタ」を開催しました。様々な職種での就業やボランティア活動、会員同士のサークル活動への参加により、収入のみならず健康維持や生きがいを感じつつ社会参加を楽しんでいる会員の紹介等を行いました。フェスタのほかにも、テレビコマーシャル等により、シルバー事業への参加・登録の促進や就業先の開拓に努めております。シルバー人材センターが、充分にその機能を発揮して活動を続けていくためにも、会員の拡大は重要な課題であります。新規の会員を広く迎え入れ、在籍会員の定着を高めるための魅力あるシルバーづくりを目指したいと考えております。

本年も、安全で適正な就業を推進し、シルバー人材センターが地域社会に更なる貢献をしていくために、減少傾向にあるシルバー事業の担い手の増強や、新しい時代に対応した事業の発展と拡充、運営基盤の強化のため、地域のシルバー人材センターを支援するとともに、当連合会の事業の促進に努めてまいります。

最後になりましたが、関係機関の皆様には倍旧のご指導・ご支援を賜りますよう、併せて会員皆様のご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹 賀 新 年

会 長	桶 川	秀 志	公益社団法人金沢市シルバー人材センター理事長
副 会 長	野 村	徳 行	公益社団法人加賀市シルバー人材センター理事長
副 会 長	久 保	雅 博	公益社団法人七尾市シルバー人材センター理事長
理 事	竹 田	由 喜 夫	公益社団法人白山市シルバー人材センター理事長
理 事	谷 口	潤 一	公益社団法人小松市シルバー人材センター理事長
理 事	坂 口	茂 男	公益社団法人輪島市シルバー人材センター理事長
理 事	紺 谷	重 忠	公益社団法人かほく市シルバー人材センター理事長
理 事	南 村	田 善 紀	公益社団法人能美市シルバー人材センター理事長
監 事	北 田	洋 一	公益社団法人津幡町シルバー人材センター理事長
監 事	増 北	一 勉	公益社団法人野々市市シルバー人材センター理事長
理 事	職 員	一 同	公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会事務局長

年頭のご挨拶



石川県知事
谷本正憲

石川県の産業のさらなる成長と企業の競争力強化に向けて

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

昨年は、天皇陛下の御即位が行われ、「令和」の新たな時代が幕を開けた大きな節目の年となりました。

本県においては、新幹線金沢開業から5年近くが経過した今も、県内各地において、想定を超える開業効果が持続しており、これまで整備を進めてきた陸・海・空の交流基盤が相乗効果を発揮した1年でした。

本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。これまで磨き上げてきた石川の魅力を国内外に発信するとともに、「第二の開業」とも云える令和5年春の新幹線県内全線開業に向けて準備を加速させていく、大変大事な1年になると考えています。

県内の景気は、海外経済の減速により速度を落としながらも、新幹線開業効果の持続や中小企業の頑張りにより緩やかな拡大基調が続いているとのこととです。本県経済を持続・発展させていくため、新製品・新技術開発や販路開拓、生産性向上などに取り組む県内企業をしっかりと後押ししてまいります。

一方で、企業の人手不足感は依然として強いことから、学生の県内就職や女性・高齢者の就業促進など、幅広い観点から企業の人材確保・活用にしっかりと取り組んでいるところです。高齢者の方々が、その能力を十分に活かし活躍する機会を確保することは、地域社会の活力を維持するために重要であり、多様な就業機会を提供するシルバー人材センターの役割は一層重要なものとなっています。県としても、シルバー人材センターの取り組みを引き続き支援してまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



石川労働局長
松竹泰男

令和2年の新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、昨年中は、石川労働局の業務運営に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、最近の県内の雇用情勢は、有効求人倍率が全国平均を大きく上回る高い水準で推移しており、改善が続いている一方で、企業においては人手不足感が強まっているところです。

こうした中、当県における高齢者の雇用を取り巻く状況は、法定義務である65歳までの雇用確保措置が、令和元年の調査では昨年と同じ99.8%の企業で導入されているなど一定の環境整備が進んできたところです。その一方で、66歳以上働ける制度のある企業は全体の28.4%と全国平均の30.8%を下回っています。

団塊の世代が全て65歳を超え、高齢化が急速に進行している現在、企業における65歳までの継続雇用は定着しつつありますが、今後迎える超高齢化社会において、社会の活力を維持し、持続的な成長を実現するためには、働く意欲のある高齢者が、年齢に関わりなくその能力や経験を生かして活躍し続けられる「生涯現役社会」を着実に実現していくことが重要なことから、石川労働局といたしましても、66歳以上働くことができる企業の拡大に向け、雇用環境の整備に取り組む企業への支援を実施してまいります。

また、高齢者の皆様が長年培ってきた経験・知識をいかんなく発揮していただき、社会の支え手となっていただくためには、高齢者の皆様の多様な就業ニーズに応じた就業機会を確保し提供していくことが重要であり、その中で、シルバー人材センターが果たしていく役割は、今後、ますます大きなものとなってまいります。

石川労働局といたしましても、貴連合会、石川県と連携を図りながら、シルバー人材センター事業を通じて多くの方が就業の機会を得て、社会で活躍いただけるよう、引き続き必要な支援を行っていくこととしております。

シルバー人材センター事業の更なる発展と関係各位の益々のご健勝とご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和元年度8月から12月末までの主要事業

専門委員会

6月に開催した安全・適正就業推進専門委員会を除く、三つの専門委員会を8月に開催しました。各委員会では、開会に先立ち、任期中に退任した委員の後任として委嘱された委員が紹介されました。

桶川秀志会長のあいさつの後、委員長が議事を進行し、事務局が前期の実施状況と今期の計画を説明しました。その後協議及び意見交換が行われました。

【各委員会の協議及び意見交換の内容】

交流研修専門委員会

● 令和元年8月5日(月)〈連合会会議室〉

- ・ 人員輸送業務従事者を受講対象とする、運転技能講習開催について
- ・ 10月の消費税増税をひかえた、経理研修の早めの実施について
- ・ 派遣の課題として、最低賃金、有給休暇の時季指定等について



普及啓発推進専門委員会

● 令和元年8月7日(水)〈連合会会議室〉

- ・ 令和2年度から6年度までの事業推進計画策定にかかる、委員会の設置について
- ・ 普及啓発グッズについて、これまでに好評であったもの、年間を通じて有効なもの等の選定について
- ・ 女性限定の入会説明会が女性会員増に効果的であったため、その開催例の紹介



就業開拓推進専門委員会

● 令和元年8月7日(水)〈連合会会議室〉

- ・ センターが、行政とタイアップして行っている空き家管理の実施例について
- ・ 空き家管理に係るドローン講習の実施について
- ・ 経理事務の県内共通化を今後の検討課題とすることについて



石川労働局・石川県等への要請

連合会では、令和元年度全国シルバー人材センター事業協会総会の決議事項に基づき、桶川秀志会長、増田勉事務局長ほか、8月21日(水)に石川労働局、8月28日(水)に石川県・石川市長会・石川県町長会などを訪問し、シルバー人材センター活動への支援要請を行いました。

当日は、松竹泰男石川労働局長、田村博石川県商工労働部労働企画課参事ほかの皆様にご対応いただき、支援要請文の手渡しと、意見交換をさせていただきました。

労働者派遣業務担当者会議

● 8月26日(月)〈石川県女性センター〉



西本正晃
石川労働局
需給調整事業室長



池田成夫
石川労働局
地方労働基準監察監督官

県内18センターの派遣業務担当者と連合会職員合わせて34名が参加し、開催されました。午前中は、増田勉事務局長あいさつの後、石川労働局から職業安定部の西本正晃需給調整事業室長に「派遣事業の適正運営」について説明いただきました。続いて、池田成夫地方労働基準監察監督官に「年次有給休暇の時季指定」について説明いただきました。

午後からは2つのグループに分かれて意見交換が行われ、各センターからの活発な意見発表や質疑応答が行われ、今後の業務の運営に大いに役立ちました。

経理研修会

● 9月18日(水)〈石川県地場産業振興センター〉

例年は1月から2月に開催している研修会ですが、10月からの消費税率の引上げ及び軽減税率制度の導入にあわせ、本年度は9月に実施しました。事務局からの説明の後、参加者は3グループに分かれて、消費税増税への対応や、担当者が日頃感じている疑問点や課題などにつき、活発な意見交換を行いました。



池水龍一
公認会計士

特に新人担当者からは、グループ別で行った、他のセンターとの意見交換が非常に勉強になったとの感想が寄せられました。

また、午後は、池水龍一公認会計士の「改正消費税をマスターして、笑売、勝売！ ～9月末(消費税増税前)までに準備すべき経理実務～」と題した講義を受講しました。



グループ別意見交換

普及啓発促進月間活動

● 10月10日(木)〈JR金沢駅東口〉

全国シルバー人材センター事業協会では、毎年10月をシルバー人材センター事業「普及啓発促進月間」と位置付け、第3土曜日を「シルバーの日」に設定し、全国一斉に地域でのボランティア活動及び普及啓発活動を展開しています。



地下イベントの
ご案内も！

今年度も、県内のシルバー人材センター及び当連合会では、10月の月間中に会員・役職員が参加し、普及啓発活動を実施しました。

当連合会は、桶川秀志会長以下役職員が、10月10日(木)に、JR金沢駅もてなしドーム地下イベント広場で開催した「シニアフェスタ2019秋の陣」(8ページに記載)にあわせ、駅東口入口付近でポケットティッシュ・折り紙・シャボン玉等を配布し、シルバー事業の普及啓発活動を実施しました。



親睦グラウンド・ゴルフ大会

● 10月17日(木) 〈かほく市高松グラウンド・ゴルフ場〉

大会当日は、さわやかな秋晴れのもと、県下の各シルバー人材センターから会員・役職員約200名が集まり、盛大に開催されました。グラウンド・ゴルフのベテランも初心者も、また、80歳以上のつわものも多数参加して、青旗コース・赤旗コースに分かれ、優勝トロフィーを目指して熱戦を繰り広げました。各ホールで競技を楽しむ方々の歓声やどよめきの中、競技は快調に進みました。

競技終了後、入賞者の皆さんには、桶川秀志会長から優勝トロフィーや賞品が手渡され、周りからは歓声と惜しめない拍手が送られました。大会は、皆さんの笑顔に包まれる中、桶川会長と受賞者が記念撮影をして、無事終了しました。



上位入賞者（優勝～3位）は、次の皆さんです。

【青旗コース】

男性の部

優勝：水野 和文さん（宝達志水町SC）
2位：間戸 正彦さん（かほく市SC）
3位：鹿子田俊彦さん（珠洲市SC）

女性の部

優勝：山口 文子さん（輪島市SC）
2位：岩脇 一枝さん（津幡町SC）
3位：熊谷知鶴子さん（津幡町SC）

【赤旗コース】

男性の部

優勝：内潟 利夫さん（かほく市SC）
2位：桶谷 省治さん（内灘町SC）
3位：塩本 則男さん（かほく市SC）

女性の部

優勝：竹本 靖子さん（津幡町SC）
2位：南出 信子さん（加賀市SC）
3位：井上 幸子さん（加賀市SC）

第2回県内各センター事務局長会議

● 10月29日(火) 〈金沢市ものづくり会館〉



桶川秀志会長



全国シルバー人材センター
厚生年金基金

桶川秀志会長あいさつの後、連合会事務局より次の項目について説明を行いました。

- 全シ協からのシルバー人材センター事業に関する情報提供
- 安全・適正就業の徹底について
- 高齢者活躍人材確保育成事業に係る「就業体験・職場見学」について
- 労働者派遣業務について
 - ・年次有給休暇
 - ・雇用保険と就業時間
 - ・安全運転
 - ・同一労働同一賃金
 - ・労働者派遣契約の中途終了
 - ・その他
- 意見交換



引き続き全国シルバー人材センター厚生年金基金による「厚生年金基金の代行返上・確定給付企業年金基金（総合型DB）への移行について」の説明をお聞きしました。

運転技能講習

派遣事業における運転業務の需要が増加傾向で推移する中、福祉施設利用者の送迎やクラブ活動の生徒の送迎など、特にリスクの高い人員輸送業務に従事する会員を対象に、事故防止対策として本講習を実施し、安全運転のスキル向上・安全意識の啓発を目指しています。

県内各センターから103人の会員が参加し、10月下旬から11月中旬に、県内12会場において実施されました。

講習では、運転技能評価システム（オブジェシステム）を搭載したマイクロバスやワゴン車で、公道走行検査及び夜間視力検査、危険接近への対応など事故防止に有効な検査等を行い、講習終了後には診断結果の解説、運転の改善方法が検討されました。これにより、自分の癖や思い込みを発見し、安全運転に向けた自己課題を見極めることができました。今後の運転業務に大いに活かされる講習となりました。

【講習修了後のアンケート結果（詳細は各センターにフィードバック）】

- ・改善すべき点が把握できたか：よくできた66%、ややできた32%、合計98%の人が把握できた。
- ・指摘されたとおり運転すべき：とても感じた76%、やや感じた18%、合計94%の人が感じた。
- ・安全運転の意識が変わったか：変わった60%、やや変わった38%、合計98%の人が変わった。



石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画策定委員会

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする事業推進計画の策定について協議するため、石川県シルバー人材センター連合会事業推進計画策定委員会（以下「委員会」という）が9月に設置され、委員の委嘱が行われました。

第1回委員会が11月15日（金）に石川県女性センターで開かれました。開催にあたり川村秀志会長の挨拶があり、事務局が委員の紹介を行いました。

続いて、委員長に谷口潤一委員が、副委員長に北洋一委員が、委員の互選により選任され、議事事項の協議に移りました。

事務局の説明の後、事前に各センターに対して実施した基本調査の結果と、新推進計画の骨子案を基に、委員の活発な意見交換が行われました。

【意見交換の内容】

- ・全国シルバー人材センター事業協会の「会員100万人計画」に伴う、県内の会員拡大の課題
- ・会員拡大の推進を行う上で必要となる、退会者を防止する対策について
- ・各センターが共通して抱えている課題が多いので、それらの対策や方向性を計画の中に盛り込む。
（例えば、会員の技能向上のための講習等の支援について）
- ・就業機会の拡大や安全就業について



第2回委員会が12月24日（火）に開催され、「事業推進計画（素案）」の検討が行われました。

第3回委員会は令和2年2月開催で、「事業推進計画（修正案）」の検討が行われ、4月からの計画実施に向け、最終案の調整が行われる予定です。



谷口委員長



北副委員長

第3回理事会

● 12月16日(月)〈石川県女性センター〉

桶川秀志会長のあいさつの後、次のとおり審議のうえ承認されました。

【審議事項】

○令和元年度収支補正予算について

【報告事項】

- (1) 令和元年度代表理事及び職務執行理事の職務執行状況報告について
- (2) 安全就業の徹底について
- (3) 適正就業の徹底について
- (4) 令和元年度国の委託事業（高齢者活躍人材確保育成事業）について
- (5) 令和2年度「シルバー人材センター関係予算概算要求」について
- (6) 同一労働同一賃金への対応について
- (7) 事業推進計画の策定について
- (8) 労働者派遣事業に係る「あっせん」について
- (9) その他



理事長会議

● 12月16日(月)〈石川県女性センター〉

県内のセンターから、理事長ほかが出席して開催されました。

桶川秀志会長あいさつに続き、連合会からシルバー事業の現状や課題について説明を行いました。

その後、会員の確保・拡大について、事前に実施した「取組事例調査」の回答に基づき、各シルバー人材センターの出席者が説明しました。調査項目は、昨年度の取組の効果などの検証、現在の取組、今後の取組に分かれており、各センターの会員の確保・拡大に対する努力の姿勢が伝わる内容でした。各センターの効果的な事例や工夫を、参加者全員で共有することができ、今後の活動において有効な情報となるものでした。

また、今年度連合会が実施した事業についても、事前の調査の中で事業ごとの感想やご意見を伺ったところ、今後の運営の参考となる貴重なご意見もいただきました。



桶川秀志会長



【内容】

- (1) 令和2年度シルバー人材センター関係予算概算要求について
- (2) 安全就業の徹底について
- (3) 適正就業の徹底について
- (4) 会員の確保・拡大について
 - ①連合会の取組
 - ②各センターの取組
 - ③昨年度の取組の効果など
- (5) 退会者の抑制策について
各センターの取組
- (6) その他

高齢者活躍人材確保育成事業（国の委託事業）

① シルバー人材センターの周知・広報の実施

「シニアフェスタ2019秋の陣」を開催

シルバー人材センター（以下「シルバー」という。）について県民の皆様にも広く知っていただき、シルバー会員の確保・拡大を目的に、シルバーの積極的な周知・広報を行っています。

その一環として、5月～7月に、金沢市をはじめ県内3カ所で「シニアフェスタ2019」を開催しましたが、新たな企画を盛り込んだ拡大版として、10月10日(木)、JR金沢駅東口もてなしドーム地下イベント広場において、「シニアフェスタ2019秋の陣」を開催しました。

当日は、約700人もの方々が参加され大盛況となりました。

ステージイベントは、午前と午後の2回開催し、立ち見も含め約500人（午前・午後計）の方々に参加していただきました。はじめに金沢市シルバー人材センターの中森敏恵業務主任が、スクリーンを利用してシルバーの目的・基本理念や仕事の内容・形態、技能講習やボランティア活動などの説明を行いました。続いて御供田幸子一座の皆さんによる婆ちゃんコントがあり、シルバーについて、笑いを交えて楽しく紹介していただきました。会場は3人の婆ちゃんコントで笑いの渦に包まれ、シルバーを、より身近な存在と感じていただけた様子でした。

また、広場には、会場に来られた方々が自由に参加できる、各種体験コーナーを設けました。金沢市シルバー人材センターの「手芸・宛名書き体験」をはじめ、「美容教室」「ロコモ度・体組成測定」「健康体操」「いきいき整体」の各コーナーに大勢の方が来られ、担当者は汗だくの対応となりました。

同時に設置した入会や技能講習等の案内コーナーも、予想を超える利用があり、担当者の説明を熱心に聞いていただきました。



シルバーの概要説明



婆ちゃんコント



手芸体験コーナー



ロコモ度テスト・体組成測定コーナー



シニア健康体操コーナー

② 就業体験の実施

就業体験は、シルバーの会員でない方に対し、シルバー会員等の協力を得て、実際の作業等についての体験や職場見学を実施し、会員の増加を図るものです。

地域別就業体験実施状況

令和元年11月末日現在

開催地域	実施回数 (回)	体験者数 (人)	内 容
金 沢 地 域	16	17	剪定、草刈、清掃、 水道メーター検針、受付、 障子張り、自動車送迎運転、 野菜収穫・袋詰め、学校給食配膳等
小 松 地 域	4	4	
七 尾 地 域	17	20	
能 登 地 域	8	9	
合 計	45	50	



学校給食配膳体験

③ 一般（未会員）向けの各種技能講習の実施

60歳以上の高齢者の方がシルバーに興味を持ち、自信を持って就業できるよう、必要な講習を行うことによりシルバーの新規会員を増加させることを目的に、1日～3日程度の技能講習を実施しています。

県内は、人手不足の状況が深刻となっており、シルバーにおいても、仕事の依頼に対応できる会員が不足する状況となっていることから、新規会員確保のため、ハローワーク等と連携しながら本事業を推進することとしています。



能美市 9月19日
「ガーデニング講習」

技能講習地域別開催状況

令和元年11月末日現在

開催地域		受講定員 (人)	受講者数 (人)	主な講習名
金沢地域	金沢市	102	85	剪定、ガーデニング、ドローン、 遺跡発掘、福祉有償運送運転手、 ハウスクリーニング、調理補助
	白山市 野々市市 内灘町 津幡町			
小松地域	小松市	62	51	ガーデニング、ドローン、 スマホ&パソコン、 福祉有償運送運転手
	加賀市 能美市			
七尾地域	七尾市	42	47	剪定、ガーデニング、ドローン、 調理補助
	羽咋市 かほく市 志賀町 中能登町 宝達志水町			
能登地域	輪島市	22	20	剪定、ドローン
	珠洲市 能登町 穴水町			
合計		228	203	



金沢市 11月13日
「ハウスクリーニング講習」



内灘町 11月19日
「調理補助講習」

センター支援講習（連合会の独自事業）

各センターの要望により、シルバー会員の技能向上や就業中の事故防止対策、接遇等のレベルアップを図るため、センター支援講習を開催しました。

センター支援講習地域別開催状況

令和元年11月末日現在

開催地域	実施回数 (回)	受講者数 (人)	内容
金沢地域	7	80	安全、接遇・傾聴、刈払機、剪定、ガーデニング、ドローン、 食品衛生責任者養成講習
小松地域	3	53	
七尾地域	4	45	
能登地域	4	48	
合計	18	226	

特集

センター支援講習から 「空き家管理事業推進のためのドローン講習」の取組

当連合会では、センターの空き家管理事業の支援として、これまで、空き家管理に係る情報の提供等を行うとともに、昨年度の役職員研修（2月26日(火)）では、輪島市シルバー人材センターの取組事例を紹介したところです。

今年度は、同事業を更に推進することを目的に、センター職員及び会員を対象に、8月22日(木)から10月4日(金)にかけ、能登町、七尾市、金沢市及び小松市において、計7回、63人に対し「ドローン」の講習を実施しました。この講習は、2日間の日程で、関係法令等を学んだ後、実際にドローンを飛ばして撮影を行うもので、参加者からは、「もっと練習したい。」といった積極的な声が多くありました。

空き家管理事業を実施しているセンター及び今後実施予定のセンターには、10月29日(火)に、講習で使用したのと同じ型のドローンを配付しました。ドローンを使用することにより、屋根の状況や雨樋の状況等、高所の写真撮影や動画撮影が可能になります。各センターの空き家管理事業が、これまで以上に発注者のニーズを満たすものになることを願っております。

なお、**高齢者活躍人材確保育成事業**として、10月29日(火)～12月18日(水)には、一般の方を対象に、県内各地域で同様の技能講習（定員12名）を延べ5回実施しました。この中から、一人でも多くの方に会員登録していただき、センターの空き家管理事業等に従事していただくことを期待しています。



講師の説明を熱心に聴く職員・会員
(小松市民センター)

早速、使ってみました！【能登町シルバー人材センター】

能登町シルバー人材センターでは、平成28年4月から空き家管理事業を実施しています。

その内容は、空き家の清掃、不用品の処分、障子張りのほか、見回り等空き家の現状確認やポストイングチラシ等の回収です。なお、この事業は、平成30年度より、能登町のふるさと納税お礼の品としても登録されています。

(平成30年度の実績：受注件数180件、就業延人員401人日、契約金額1,682,473円)

先日、空き家の現状確認のため、ドローンを使って屋根の写真撮影と動画撮影を行いました。

室内での講習とは違い、外での操縦は風の影響があり、なかなか思うようにできませんでしたが、何とか目的の撮影ができました。今後は、操縦の技能を向上させ、確実に撮影ができるようにしたいと思います。



左：ドローンを使用し、空き家の現状確認を実施している様子（11月、能登町地内）
中：ドローンで撮影した屋根の様子（11月、能登町地内）
右：能登町ふるさと納税お礼の品より抜粋「シルバー空き家サポーター」

衛生委員会 掲示板

骨折を防ぎましょう (その2)

公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会 産業医 井上 一彦



皆様 お変わりなくお元気で御活躍のことと存じます。

紙面の都合で2回に分けておりますが、前回に続きシルバー会員の業務中の災害として稀ならず起きており、生活の質を大きく損なう原因となる骨折を防ぐための話題です。

前回掲載から6か月が過ぎており、前号が見当たらないという方もいらっしゃるでしょうから、先ず前回の要約を書かせていただきます。

前回の内容をよく御記憶の方は、「骨粗鬆症を見逃さず骨折を防ぐために」以下をお読みいただければ結構です。

「骨粗鬆症」とは

誰にも避けられないことですが、加齢による性ホルモンの分泌低下によって骨を壊す機能が骨を作る機能を上回り、骨の密度が低下します。また、カルシウム吸収低下等により骨の質も劣化します。こうして骨が折れやすくなった状態を「骨粗鬆症」と言います。

なぜ骨粗鬆症に注意が必要か

50歳以上の女性4人に1人が骨粗鬆症だと言われ、女性に多いのは確かですが、男性も女性の3分の1の頻度で骨粗鬆症を発病します。発病に生活習慣病が関わっている男性は急激に重症化し、骨折による死亡率も高くなることが知られています。65歳以上の大腿骨頸部(脚の付根部分)骨折では、1年以内に1割以上が亡くなり、2割以上が歩けなくなり、認知症のリスクも高まります。

骨粗鬆症を見逃さず骨折を防ぐために

骨粗鬆症は無症状で、わずかな骨折では痛みを感じない場合もありますので、定期的な検診が必要です。自治体が行っている検診は女性のみが対象ですが、少ない自己負担(400円程度)で、問診(身長・体重・過去の骨折・治療中の病気・飲酒・喫煙など)と踵の超音波検査(手骨X線撮影を行うところもあります)により、精密検査(腰椎X線撮影を行います)が、これについては保険診療となります。)が必要か否か判断します。

2018年11月、全国で2015年度に行われた骨粗鬆症検診に関連するデータが公表されました。一例を挙げると、受診率14%の栃木県では、受診率0.9%の和歌山県と比較して大腿骨頸部骨折に対する手術数が約3割と少なく、検診によって高齢者の危険な骨折が未然に防がれたことが判ります。検診受診率が高い県ほど大腿骨骨折数と要介護・要支援認定者数が少ない(つまり、生活を損なうような骨折が防がれている。)という結果が統計的に明らかとなりました。石川県の検診受診率は11%と、全国平均(5%)を上回っているものの、多くの方々がせっかくのチャンスを逃していらっしゃるのではと気がかかります。

骨粗鬆症の治療には、効き方の異なる複数の薬剤の有効性が確認されていますので、骨粗鬆症に陥っても、検診で発見し、早急に診断して適切な治療を開始することで、重大な骨折が起こるのを防ぐことができます。

おわりに

今回は骨粗鬆症を発見するための検診について書かせていただきました。骨粗鬆症を予防する運動と食事に関しては機会を改めて書かせていただきます。

今回もお読みいただきまして、誠に有難うございました。

お元気で。

県内の各シルバー人材センターの活動

県内各地域18のシルバー人材センターでは、10月の「普及啓発促進月間」を中心として、各地域でボランティア活動の実施や、独自イベントの開催、街頭等でのポケットティッシュやチラシ配布等による普及啓発活動を実施しました。これらの中から、また、それ以外の今年度の事業から、特色ある独自事業、センター主催のイベント、あるいは地域ならではの特性を活かした農産物の販売など、各シルバー人材センターの活動を紹介します。

公益社団法人金沢市シルバー人材センター

★シルバーフェスタ金沢2019

普及啓発促進月間に、地域社会との絆を深める活動と併せ、当シルバー人材センターの事業の理念、仕組み等を広く市民に周知する行事の一環として、市民参加型のフェスタを行っています。

昨年は、10月20日(日)に、隣接する金沢市公設花き地方卸売市場の「花き市場まつり」と同時開催し、多くの市民で賑わいました。



★女性限定入会説明会

女性会員の拡大のため、「女性限定入会説明会」を開催しました。シルバー人材センターの仕組みと入会方法の説明、女性会員が実際に就業した際の体験発表もあります。ヨガ体操や尺八の演奏を聴いたりなど、簡単なレクリエーションも取り入れているので、とても好評です。説明会がきっかけで入会した女性会員も多く、女性会員の拡大に繋がっています。

公益社団法人小松市シルバー人材センター

★ハローワーク出張相談会開催

会員の拡大を目指し、ハローワーク小松のご協力のもと、出張相談会を平成31年2月から毎月第2・4金曜日の10:00~11:30に開催しています。

相談会へは、小松市と能美市のセンター職員が出向き、シルバー人材センターの仕組みと入会方法の説明や仕事の相談を行っています。4月~11月の8ヶ月間に計124人が参加され、その内小松市の方は92人で、うち24人(26%)がセンターへ登録されました。



★飛び石事故検証会議開催

草刈機による飛び石事故を防止するため、草刈班のリーダー5人が11月27日(水)に、令和元年度に発生した事故現場2カ所に出向き、事故発生原因を確認するとともに、再発防止策について意見交換し、来年度の飛び石事故防止に生かすことを申し合わせました。

公益社団法人七尾市シルバー人材センター

★ふれあいの集い

毎年、普及啓発促進月間の10月第2土曜日に「ふれあいの集い」を開催していますが、当日は台風のため急な延期となり、11月10日(日)に開催し、大盛況に終わることが出来ました。



当センター会員の参加はもちろん、広く一般にも楽しんでいただけるよう、会員手作り野菜の販売や「青空市」のリサイクル品販売、サークルの発表や会員作品の展示販売をしました。また、地元で活躍する歌手(会員)や歌謡舞踊会の演舞、「テント市」の飲食コーナー等々、多種多彩な催しで賑わいました。



公益社団法人加賀市シルバー人材センター

★シルバーいきいきサロン開催

高齢者が日々いきいきと輝いて過ごせることと、シルバー人材センターのイメージアップをねらい、昨年6月から市民向けに毎月各種講座を開催しています。

スマホ教室、美容教室、料理教室、ヨガ体験教室を開催し、参加者募集への情報伝達に難しさを感じながらも、口コミで会を重ねるごとに参加者が増えています。



★会員交流地区懇談会開催

毎年10月～11月にかけて各地区会員懇談会を開催していますが、これまでの9地区を3地区に統合し、幅広い会員交流を目的に開催しました。

元MROアナウンサーで石川県生涯学習講師である方を講師にお招きし、100歳を超えても、常に前向きに生涯を過ごした方の例を交え、ユーモアたっぷりの講演を楽しみ、シルバー会員として今後も頑張っていくことを確認しました。

公益社団法人白山市シルバー人材センター

★会員募集・仕事募集について

白山市福祉健康まつりに合わせて、独自の募集チラシを作成し、来場者に配布しました。また、老人クラブ会員あての特殊詐欺防犯ポスターに広告を掲載したり、ケーブルテレビのお知らせチャンネルで、会員や仕事の募集を行いました。



★ボランティア活動の実施

普及啓発促進月間の10月10日(木)に、こがね荘において約30名の参加のもと、清掃ボランティア(除草、剪定、落ち葉清掃)を行いました。

6月にも清掃ボランティアを行い、春先には剪定部会員による老人福祉施設の剪定ボランティアを行っており、今後も継続して行っていく予定です。

公益社団法人羽咋市シルバー人材センター

★シルバーフェスタはくい2019

11月17日(日)開催の、恒例地域交流イベントは12回目。会員による準備、運営や市民参加のステージショー、バザー、直営eco農園や会員自家栽培の新鮮野菜販売、ポン菓子、焼き芋

など大盛況となりました。「地域とのふれあいを大切に」をモットーに、多くの来場者で賑わいました。



★ボランティア美化活動

10月3日(木)、普及啓発促進月間にあわせボランティア除草を行いました。昨年度に引き続き、シルバーeco農園の野菜を出荷している「道の駅のと千里浜」の敷地内で58名が参加し、早朝から汗を流しました。

公益社団法人野々市市シルバー人材センター

★夏休み宿題応援教室

退職教員が夏休みの宿題サポートと、学校の授業とはちょっと違う、楽しくて面白い勉強や実験を行っています。児童、保護者、学校の現役先生からも喜ばれており、5年目の今年度は、市内小学校5校全部で開催し、3年生から6年生まで延べ888名が参加しました。



★グラウンドゴルフ大会・ボランティア活動

春は5月、秋は10月に、恒例のグラウンドゴルフ大会を開催し、ベテランから初心者まで、楽しくプレーしました。ボランティア活動では、4つの地域で清掃活動に取り組みました。

★男の料理教室・いきいき美容教室

センターの周知と会員の親睦を兼ねて「初心者でも美味しく作れて健康に」をテーマに料理教室を4回開催し、男性ならではの、大胆かつ華麗？な包丁さばきで調理できました。女性には「簡単メイクで気分を明るく」をテーマにメイク教室を開催し、華やかで明るい笑い声が教室中に響き渡りました。



公益社団法人珠洲市シルバー人材センター

★独自事業 手芸サークル「万年青の会」

毎週木曜日、センター内の和室に集まり、楽しくおしゃべりしながら、各自手芸作品を制作しています。

市内の道の駅や、イベント会場で商品を販売しております。



特に布草履は、県内外からリピーターの購入もあり、好評をいただいております。



★普及啓発活動の実施

10月19日(土)シルバーの日に、普及啓発委員により、イベント会場にてPRチラシとポケットティッシュなどの配布を行いました。そのほか、公共施設にて会員による除草や清掃、剪定などの奉仕活動も行いました。

公益社団法人輪島市シルバー人材センター

★ボランティア活動

10月1日(火)、「道の駅ふらっと訪夢」はじめ市内の公共施設10カ所で、午前9時から会員約100名が参加して草刈り奉仕活動を実施しました。普及啓発活動月間のスタートとして毎年取り組んでいます。

また、10月30日(水)は、輪島市美しい町づくり推進協議会主催の市内全域草刈り奉仕活動に参加しました。当センターは、市内中心部を流れる河原田川の河川敷及び堤防付近を受け



持っており、約20名の会員が参加しました。



★里山・里海まつりに出店

10月27日(日)、輪島市主催の「里山・里海まつり」に出店して、普及啓発に努めました。当日は天気にも恵まれて、会場のマリンタウンには大勢のお客様が来場され、多くのブースで完売となりました。

公益社団法人能登町シルバー人材センター

★普及啓発活動の実施

10月19日(土)のシルバーの日に、能登町内のホームセンター前で役職員が参加して、ポケットティッシュ・折り紙・シャボン玉の配布を行いました。その後、健康ウォーキングを兼ねて町内(松波地区)で空きカン拾いボランティアを実施しました。



★シルバーショップ「かがやき」農産物の栽培と販売

独自のブランド米の生産、ブルーベリー、能登の塩を使った味噌、さらに加工品として唐辛子の入ったなんばみそ製造販売、また会員が作った野菜などをシルバーショップで販売しながら、三世代交流ができる憩いの場として開設しお客様に喜んでいただいています。

公益社団法人かほく市シルバー人材センター

★ぶどう狩り開催

かほく市内で栽培中断されたぶどう畑を借りて、シルバー会員で、デラウェアの栽培を実施しました。収穫時期の8月3日(土)には、ぶどう狩りを開催し、約50名の会員やその家族の方が収穫を体験しました。



★農作物栽培

約300坪の耕作放棄地を借りて、農作物栽培を始めました。サツマイモ・ネギ・ジャガイモ・長いも・落花生・玉ねぎを植えました。

★街頭キャンペーン活動

10月19日(土)スーパーマーケットの前で来客者にシルバー活動を知ってもらうためにポケットティッシュやチラシ等を配布しました。「剪定まだかいね〜?」とか「うちの父がお世話になってます」など、色々な会話を交えながら楽しく活動できました。

公益社団法人志賀町シルバー人材センター

★普及啓発促進月間

シルバーの日前日の10月18日(金)夕方に、会員理事6名・職員6名の12名で、町内ショッピングセンター4カ所で、普及啓発用ポケットティッシュを配布しました。



10月17日(木)に、かほく市で開催された県連合会主催親睦グラウンド・ゴルフ大会には、会員5名が参加しました。



10月は会員参加型行事が多くあり、会員相互の親睦が深まり、センターのPRにつながったのではないかと思います。今後も様々な活動を通して、シルバーの輪を広げていきたいです。

公益社団法人津幡町シルバー人材センター

★普及啓発活動

10月19日(土)に、津幡町内のスーパー3カ所で、10月27日(日)は「俱利伽羅ござっさい祭り」において、シルバー人材センター事業をより知っていただくために、会員、役員、職員がポケットティッシュ・チラシ等を配布しながら一人一人に会員募集・お仕事募集のPRをしました。すでにシルバー人材センターを利用したことがある方から、「いい仕事してもらって、助かるとるわ」と、感謝の言葉も聞かれました。



★シルバー朝市

10月19日(土)シルバー朝市を催し、会員が丹精込めて作った新鮮野菜や手芸品を販売しました。この朝市は、サンライフ津幡で毎週水曜日に開催し好評を得ているシルバー市を、拡大したものです。早朝にもかかわらず、リピーターも、知らずにふらりと立ち寄った方も、安くて新鮮な野菜を手にして笑顔でした。

公益社団法人中能登町シルバー人材センター

★普及啓発活動の実施

10月19日(土)の「シルバーの日」に、アル・プラザ鹿島店と食文化「新鮮館」及びどんたく「エブリィ店」の3店舗で、シルバー活動のPRを行いました。会員の皆さんは、店舗玄関前で、粗品とお子さんには風船を笑顔で手渡し、大きな声でセンター事業に対する理解と協力をお願いしました。



★女性会員で『美味しい手作りスイーツ』

和冬の会(女性会員の会)では、年間を通じてお仕事以外の様々な講習会等を開催しています。11月5日(火)にはラピア鹿島で「手作りスイーツ」に挑戦。理事長が講師となって美味しいシフォンケーキの手作り体験をし、みんなで会食して楽しいひと時を過ごしました。こうした試みは女性会員の励みとなり、今後の会員募集や女性会員の増加に繋がっていきます。

公益社団法人能美市シルバー人材センター

★感謝祭の開催

11月24日(日)に、お仕事をいただいたり、お世話になっている皆様に感謝を込めて、今年度も「シルバー感謝祭」を開催しました。独自事業で栽培した能美市特産の「丸いも」を格安で販売し、丸いも入り豚汁や、つくたてのお餅を来場者に振る舞いました。また、会員が持ち寄った自家野菜も飛ぶように売れ、完売。感謝祭は、シルバーへの理解と会員の交流の場でもあり、多くの会員の協力で盛況に開催できました。



★野菜づくりに挑戦

将来的なセンター特設売店設置を見据えて、会員有志により野菜づくりを始めて2年目になります。今はジャガイモ、玉ねぎ、万願寺唐辛子、カボチャ、生姜などを栽培し、収穫した野菜を、センターや温浴健康増進施設「クアハウス九谷」で販売しています。まだまだ収益は上がりませんが、会員同士が仕事の合間を見ての作業であり、将来の就労の機会や社会貢献の一端を担うことにつながればと楽しく活動をしています。

公益社団法人宝達志水町シルバー人材センター

★恒例のボランティア活動

普及啓発促進月間行事の一環として、10月15日(火)、会員さんと役職員合わせて28名が、特別養護老人ホームちどり園で、恒例の除草ボランティアを行いました。普段は事務所にあまり顔を出されない会員さんも、この日は別。ほとんどの会員さんは顔見知りです。

作業開始前には町長も激励に訪れ、会員さんもやる気満々です。当センターでは毎年、この除草ボランティアを行って



きました。作業内容は会員さんの方がよ〜くご存知で、センター担当者から注意事項を説明するだけで、作業は始まります。各会員は、すばやく、手際よく作業に入ります。初めてボランティアに参加した会員には「俺と同じ場所で」「私と一緒に作業しましょ」「そこは危ないから気を付けて」、会員同士のやさしい言葉が行き交います。作業すること2時間。あっという間に除草作業は終わり、後片付け。施設長のお礼あいさつの後、解散しました。

今回も、多くの会員さんに参加をいただきました。



公益社団法人内灘町シルバー人材センター

★『よってこか〜新鮮野菜市』の開催

毎月第3火曜日にシルバー事務所前にて、野菜市を開催しています。会員の心のこもった低農薬野菜や花、手作り品の販売をしています。同時に包丁研ぎも行っています。



★料理教室開催

昔からのおばあちゃんの保存食（漬物、大根寿司、梅干し、らっきょう等）を作る人材を育成するため、料理教室を開催しています。今は、毎月、季節を感じながら旬の料理を楽しんで作っています。

※上記の2つの事業は、仕事だけではなく、誰もが楽しんで参加できる事業として、会員の増加に繋がるように行っているものです。地域の「お助け隊」として、頑張っています。



公益社団法人穴水町シルバー人材センター

★蕎麦屋「そば処 大仏庵」

独自事業として始めた、手打ち蕎麦屋の「そば処 大仏庵」も、昨年11月に、開業一周年を迎えました。これまでに客席数を増やしたり、メニューに蕎麦粉100%のシフォンケーキを加えるなど、工夫をしながら、お客様にも好評をいただいています。



そして、昨年10月には、海岸線から能登大仏までの遊歩道(約2,000m)が完成し、ウォーキングコースとして風光明媚な穴水湾を散策できるようになり、県内外からたくさんの来場者が訪れています。

今後も地域就業機会創出・拡大事業を活用し、会員の就業拡大と地域の皆様の憩いの場、そして、観光客の休憩場として利用できるよう、スタッフ一同、頑張っていますので、皆様のお越しをお待ちしています。【営業日は、毎週 土・日・月曜日】



さあ! あたらしいステージへ!!

人生100年

シニアの新しい働き方 

シルバー人材センター

 県内登録者数 **1万人**

うち、**女性**の登録者数は **3,700人**

 平均年齢 **72歳**

詳しくは、お住まいの地域のシルバー人材センターまで。

石川県あなたの街のシルバー

で **検索** 

ホームページは右のQRコードからご覧いただけます。



編 集 後 記

あけましておめでとうございます。

「シルバー連合会いしかわ」第43号発刊にあたり、お世話になった関係機関の皆様へ、心から感謝申し上げます。

昨年は、令和の新時代の幕開けを迎え、気持ちを新たに体験をしました。ラグビーワールドカップでは、日本代表の活躍に、ラグビーファンのみならず、国中が大いに盛り上がりました。そして、今年はいよいよ東京オリンピックの開催です。メダルの獲得数が大きく報じられることと思いますが、結果はどうか、それを目指して並々ならぬ努力を積み重ねてきた選手に対し、感謝の気持ちを持ってテレビで応援したいと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします。



公益社団法人 石川県シルバー人材センター連合会

〒920-0862 金沢市芳斉1丁目15-15 TEL(076)222-4680 FAX(076)222-4681

ホームページ: <http://www.ishikawa-silver.com/>

「シルバー連合会いしかわ」は、石川県シルバー人材センター連合会のホームページからもご覧いただけます。

